

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第110号

視覚障害者の社会参加 背中押す区に

点字ディスプレイの給付対象の拡大を



2010年の1回目の議会、予算議会は2月24日からスタートします。請願審査のある委員会も傍聴できますので、是非お越し下さい。



漫画：安藤たい作

なぜこの機器が重要なのでしょう。文字入力には晴眼者には容易なことですが、視覚障害者の方にとっては点字用紙を板に固定し、定規を当て紙の裏から点字を打ち込む「手書き」。私も要望を寄せて頂いた方の家で

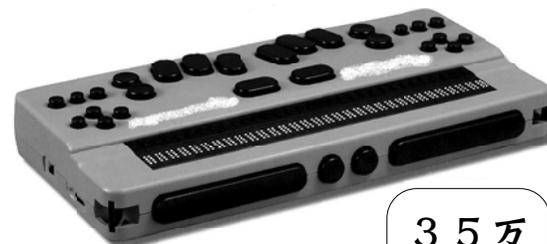
「手書き」は大仕事。しかし、いまや18区が視覚障害者単独でも助成しています。品川区も視覚障害者の社会参加を後押しする姿勢にたち、単独助成すべき。対象拡大で点字ディスプレイが広がれば、むしろ点字もいっそう普及するのではないのでしょうか。

点字「手書き」は大仕事

点字を入力でき、また入力した文書データもピンの上げ下げで表示できる装置（写真）。持ち歩けるサイズのため、会議でのメモに最適。スケジュール管理や日記帳、パソコンと接続しデータを送信することにより、読書にも使えます。

点字ディスプレイとは

視覚障害者の社会参加を促す点字ディスプレイ



32マス・USBメモリ使用可

35万
7000円!!

社会参加を促す立場こそ

その上、市場で広く出回るものでもないこの機器は安いものでも一台20万円余します。そのため自治体では日常生活用具の給付事業として、購入費用の一部給付をしています。しかし品川区では、この給付対象を視覚と聴覚の重複障害者のみに限定。区はその理由を「点字の普及率は低い。（機器を）使える人が少なく、要望も少ない」「（点字ディスプレイは）重複障害者向けのものというのがこれまでのスタンス。視覚障害の人は音声の情報が入る」などと説明しています。

体験させて頂きましたが、大仕事です。視覚障害者は視覚情報がない上、晴眼者が当たり前のように享受している「文字として残す」行為さえ大変な苦勞の上に手しているのが実態だ、と痛感しました。

視覚障害の方が点字で気軽にメモできる機器「点字ディスプレイ」。社会参加を大きく広げるこの機器を、購入の際に補助を行う「日常生活用具給付事業」の対象にして欲しい、との声があがっています

安藤たい作プロフィール '74年宮城県仙台市生まれ。国立宮城教育大卒。'98年漫画家を志し上京。'02年青年誌奨励賞受賞。'06年の区議補選で初当選。現在、二期目。

安藤たい作ニュースは、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める使途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。ご意見・ご感想をお寄せください。

お知らせ

3月の

無料生活・法律 相談会

3月24日(水)
夜6:30~8:30

安藤たい作西品川事務所
(品川区西品川3-16-3)
大崎駅より徒歩5分・西口デッキ百反坂つきあたり

①弁護士さんと一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください。

②当日直接お越しいただいても結構ですが、お待ち頂くこともあります。事前に電話を入れた上、ご参加いただけると確実です。

(平日日中: 5742-6818)

(土日は: 3785-2810)

(当日相談会開催中は: 3491-3230)

本会議場バリアフリー化実現！ 障害者の皆さんの請願運動がカに

本会議場にエレベーターとバリアフリー席が完成。車椅子でも気軽に傍聴できるようになりました。2月12日、工事完成お披露目がありました。

背景には区民の運動があります。08年10月、「議会のバリアフリーについてを求める請願」は10名の傍聴者が見守る中、全会一致で採択。他党派から別室でテレビ傍聴でいいのではとの消極的意見もありましたが、共産党は、車いすの方が排除されているのは改善が必要、と請願への賛成を表明し論戦。署名活動にも奮闘し、実現ために、議会内外でがんばりました。



エレベーターに試乗する
南・共産党区議団長(下)



矢印の所に2ヶ所、合計4席の車椅子用の傍聴スペースが確保されました

安藤たい作ニュースへのご意見・ご感想、
区政へのご要望、質問や相談など、
何でもお寄せ下さい。



*任意で【お名前】

【ご住所】

【お電話】

3778-3088 (FAX) まで

〒140-0005 品川区広町2-1-36 品川区役所内共産党控室

*もちろんメール (antai@jcp-shinagawa.com) でも受け付けています